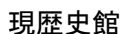


歴史館だより

Three cartoon characters are shown from the waist up, each wearing a different colored helmet with 'X' marks. The character on the left is blue and has a blue helmet with a large blue 'R' on its chest. The character in the middle is pink and has a pink helmet with a large pink 'S' on its chest. The character on the right is yellow and has a yellow helmet with a large yellow 'K' on its chest. All three characters have large eyes and are smiling.

「山陰歴史館の記憶」

山陰歴史館復活から 70 年間の歴史を展示紹介します。



「米子歴史絵巻」 ～受け継がれる民俗芸能～ 報告

開催日 令和5年10月1日（日）

山陰歴史館では、米子市文化財団の管理施設との連携事業として、「米子歴史絵巻」を開催してきました。この事業は国の補助金を得て地域文化財総合活用推進事業として取り組み今年で10回目となりました。この絵巻は、史跡の現地で芸能や音楽、演劇を開催し史跡の理解と文化の振興を図る目的で開催しています。

今年は、米子市公会堂と連携して国史跡鳥取藩台場跡淀江台場築造160年にあたり、淀江台場公園で開催しました。淀江台場は、幕末に外国船の襲来に備えて造られた鳥取藩台場の一つで、文久3年（1863）に築造した砲台です。汗入郡の大庄屋を務めた豪農松波宏年（徹翁）が土地を提供し、長崎で蘭学を学んだ宏年の長男の宏元が設計し、地元の汗入地区の農民たちが築造したものです。現在、長さ65m、高さ5mの土塁が残っており、昭和63年に国指定の史跡となり、台場公園として整備されました。

この淀江台場公園で、歴史絵巻として庶民に受け継がれた民俗芸能「米子盆踊」、「小松谷盆踊」、「淀江さんこ節」を披露していただきました。

また、地元の今津自治会の「第20回今津お台場祭」と同時開催し沢山の人で賑わいました。



開催当日風景

米子歴史絵巻
～受け継がれる民俗芸能～

米子盆踊

小松谷盆踊

淀江さんこ節

米子歴史絵巻
～受け継がれる民俗芸能～

10月1日（日）
14時～15時頃（13時30分受付開始）

国史跡鳥取藩台場跡 淀江台場跡
（鳥取県米子市淀江町今津）

参加無料

空荒大の場合は米子市立山陰歴史館・米子市公会堂ホームページで開場

米子市立山陰歴史館・米子市公会堂ホームページで開場

第20回今津お台場祭
同会場同時開催
13:00～17:00
バザー・芸能大会

問合せ先 / 米子市立山陰歴史館 ☎0859-22-7161

主催 / 一般財団法人 米子市文化財団（米子市立山陰歴史館 米子市公会堂）
米子市、米子市教育委員会 共催 / 今津自治会
協力 / 米子盆踊り保存会、小松谷盆踊り保存会、淀江さんこ節保存会、淀江公民館、
淀江地区自治会長連合会、一般財団法人 米子市文化財団（米子市淀江文化センター）

1 階 第 2 展示室 「竹島渡海旗印」

竹島渡海は、元和3年（1617）、大谷甚吉が越後からの帰途、暴風雨で竹島（現鬱陵島）に漂着し、魚介類や珍木が豊富なことを発見しました。帰国後、村川市兵衛の協力を得て、幕府から竹島渡海の許可を得て渡海を始めました。元和4年（1618）から元禄9年（1696）まで約80年間、毎年、大谷家と村川家が交替で渡海往来し、島の資源を得ていました。

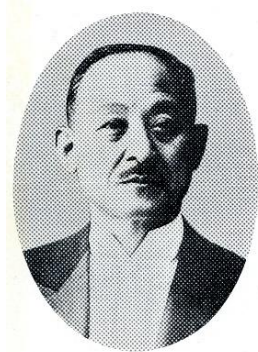
しかし、元禄9年頃に朝鮮の人たちも来るようになり、朝鮮国との紛争を恐れた幕府が渡海を禁止し、竹島渡海は終わりました。



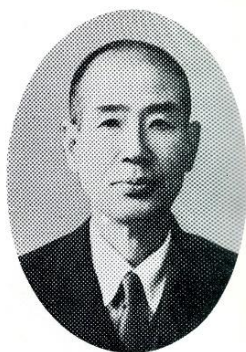
2 階展示室「米子市の人物伝Ⅲ」—米子市長たちの業績—

このコーナーでは、近代米子で活躍した人たちを紹介しています。

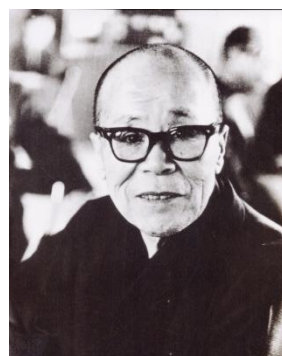
今回の展示は、パートⅢとして米子市の歴代市長たちと、その業績を紹介しています。



西尾常彦



斉藤干城



野坂寛治



河合弘道



松本 徹



森田隆朝

会 期

令和5年10月20日（金）～12月28日（木）

令和5年度の主な展示事業

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
常設展 米子城展、昔の暮らし展、鉄道のまち米子の歴史展、人物展ほか	国史跡米子城跡、鉄道資料、民俗資料、郷土ゆかりの人物などの歴史をとおして、人々の暮らしの様子を紹介する。 入館料無料	通年・随時展示替
企画展 「郷土の看板展」	郷土所縁の看板とその関連資料を展示する。看板にスポットを当て、商都米子を形成した商家や米子周辺にあった公共施設などについて紹介する。 入館料 300 円 (終了しました)	4 月 23 日(日) ～ 6 月 11 日(日)
共催展 「池田家墓所写真コンクール展」	池田家墓所の写真コンクール入賞作品を展示 (共催：公財史跡鳥取藩主池田家墓所保存会) 入館料無料 (終了しました)	6 月 24 日(土) ～ 7 月 23 日(日)
館蔵品展 「資料で語る郷土の戦争」	館蔵品等の中から戦争関係の資料を紹介する。 入館料無料 (終了しました)	8 月 6 日(日) ～ 9 月 3 日(日)
企画展 山陰線全通 90 年記念 「レッツゴー山陰本線 —日本で一番長い在来線—」	昭和 8 年(1933)に山陰本線が、京都～幡生間全線開通して 90 年を迎えることを記念し、山陰本線沿線の駅の歴史や観光地を、写真やパンフレット、駅弁包み紙など関連資料を展示し紹介。 入館料 300 円	9 月 16 日(土) ～ 11 月 5 日(日)
企画展 「山陰歴史館の記憶」 山陰歴史館復活開館 70 年記念	昭和 28 年(1953)に山陰歴史館が旧小原家長屋門で戦後の復活開館を迎え 70 年になる。同年の湊山球場開場などの他、近年の湊山周辺の変遷、ならびに米子城跡について紹介。 入館料 300 円	11 月 19 日(日) ～ 令和 6 年 1 月 21 日(日)
館蔵品展 「いつもしまってある 絵図・地図展Ⅱ」	館蔵品の中から、保管してある絵図と地図を紹介しします。 入館料無料	令和 6 年 2 月 10 日(日) ～ 3 月 31 日(日)

米子市立山陰歴史館



開館時間 9:30～18:00 (17:30 までに入館)

休館日：毎週火曜日 祝日の翌日 12 月 29 日～1 月 3 日

〒683-0822 鳥取県米子市中町 20 番地
電話/0859-22-7161 fax/ 0859-22-7160

<http://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail:saninrekishikan@dear.net.jp [編集：小原]

